

伝統の造り酒屋とともに地域で共存共栄を目指す営農を展開 ～農事組合法人 楽農ファーム吉田～

経営体の概要

現 在：平成29年
基幹作物：水稻、麦、大豆、かぼちゃ、うり
経営面積：82 ha(水田)

取組の経緯と経営転換のポイント等

農業者の高齢化、農家戸数の減少等が課題となるなか、平成14年度に転作組合から発展させた吉田営農組合を、さらに平成20年度に農事組合法人楽農ファーム吉田を設立した。こうしたことを経て国営かんがい排水事業による用水安定供給、ほ場整備事業による汎用化ほ場を活用した法人経営による集落営農が可能となった。一方で、集落内には伝統的な造り酒屋（株）岡村本家があり、本法人が生産した酒米を100%使用して醸造した清酒「玉栄」が販売されるなど、地域とともに共存共栄する営農を展開している。

営農改善のポイント

①作物の変化

転作組合の時代から主に水稻、水田畑利用としての麦、大豆を栽培してきた。法人化を進める中で、平成18年度から豊郷町特産の「とよ坊かぼちゃん」(ミニかぼちゃ)、うりの栽培をはじめ、収益増加と高齢者、女性の活用につなげている。また、集落内の(株)岡村本家への酒造用に酒米「玉栄」の栽培をはじめ、(株)岡村本家から「楽農ファーム吉田」のラベルの貼られた清酒「玉栄」が販売されることで、地域との結びつき、知名度アップに役立っている。また、大豆は食品加工会社との交渉の中で契約栽培の黒大豆の割合を増やすことで収益を増加している。

②流通・販売の工夫

主要な出荷先はJAとなっているため、JA以外の販路確保や、地産地消に努めている。集落内には伝統ある造り酒屋である(株)岡村本家があり、酒米「玉栄」、うり等を出荷している。うりは酒造で出た酒粕を有効活用して作られた粕漬「金亀漬け」が(株)岡村本家から販売されている。また、黒大豆については、大阪に本社がある食品加工会社に契約栽培で出荷することで収益を上げている。このほか、学校給食への食材提供や各種イベント((株)岡村本家での「金亀酒蔵祭り」、吉田コスモス園でのコスモスフェスタ)で直売を行い、消費者との交流とともに地域との共存共栄を図っている。



うりの収穫作業



うりの粕漬



コスモスフェスタ



金亀酒蔵祭りでの直売



黒大豆の機械収穫作業

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：滋賀県近江八幡市、東近江市、
愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町
受益面受：6,877 ha
事業期間：平成26年～34年
事業目的：用水改良
主要工事：ダム湖内掘削1ヶ所、用水路11km、
地下揚水機22ヶ所、調整池6ヶ所等



<問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部
農地整備課 営農担当
電話：075-414-9541
(内線2565)

(平成29年度調査時点)